

ケアマネ 通信くしろ

2025. 4. 30発行

発行

釧路地区介護支援専門員連絡協議会

事務局

老健くしろ指定居宅介護支援事業所
釧路市昭和190番地4462

(介護老人保健施設老健くしろ内)

TEL 0154-55-2567

FAX 0154-53-3011

第 69 号



令和6年度第2回自主研修会

「ケアプランデータ連携システムと生産性向上について」

令和7年3月28日、釧路市生涯学習センターまなぼっとにて第2回自主研修会が開催されました。今回の自主研修会は2部構成となっており前半は令和5年4月20日から本格運用された【ケアプランデータ連携システム】について、株式会社NDソフトウェア様（介護ソフトほのぼのを提供されている会社です）の担当者の方より講義をしていただきました。

令和6年度の介護報酬改定でも打ち出されている内容にも「良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい環境づくり」、「制度の安定性・持続性の確保」が示されており、ICTを活用した生産性向上が今後必須と考えられています。

今回、【ケアプランデータ連携システム】について「名称は知っているけど一体どんなシステムでどのように使うのか?」、「導入費用は?」「デジタルは苦手…、使える自信がない…」等感じていた方も多いのではないかと思います。厚生省、国保連の資料を用いてわかりやすく説明していただきました。

現状システムの導入率は全国でもまだ約43%程度とのことで北海道は約17%、釧路市に至っては0%とのことでした。ですが、今回の研修会で理解を深めた方も多く、今後の導入に向けて積極的に考えたい!といった声も聞かれていました。

研修会後半は、業務で工夫していることや、事業所で使用しているICT機器の活用、日々の業務改善に向けた取り組みなど、グループで話し合ってもらった時間でした。それぞれの事業所での取り組みなどを積極的に意見交換が行われ盛り上がっていました。

介護現場においてICTの活用や業務の効率化、生産性向上がより推進されていく中で今回【ケアプランデータ連携システム】について学べる機会を持つことができたので、今後もこういった研修会を期待したいと思います。

「ケアプランデータ連携システム」で検索すると、厚生労働省のホームページから詳細を調べることができます☆
(相澤)



福祉用具いろいろあります

広報幹事会議中…、サービス事業所の事が話題に上り、その中でも「最近おもしろい福祉用具があるよね」との話が。そこで、おすすめの福祉用具を紹介してもらってはどうか、という事になり、いくつかの事業者様にお声を掛けさせていただきました。福祉用具事業者の皆様、お忙しい中沢山の用具のご用意、又お時間も割いていただき本当にありがとうございました。

移乗サポートHug（ハグ）

今回はメルプ様より移乗サポートHug（ハグ）という福祉用具をご紹介して頂きました。こちらの商品は私も以前より興味のあった商品で、立ち上がりや移動動作をサポートしてくれる福祉用具です。

担当の方に伺ったところ、座位保持が可能である方であれば利用可能、体重は100kgの方まで移乗できるそうです。カタログで見たイメージよりもコンパクトで驚きました。実際試乗してみましたが、リモコン操作にてゆっくり上体が抱え上げられ、そのままの状態で座りたいところへ移動。ゆっくりと座ることができ身体に負担なく移乗できました。脇から抱えあげられるので引っ張られる感覚がありましたが、何度か利用して行くうちに身体の置く位置が分かるようになるので、引っ張られる感覚は無くなるそうです。とても便利ですが、車輪が小さく足を乗せる台が低いと段差が乗り越えられないとのことで、バリアフリー対応とのこと。その他、グリップから手を離すだけでブレーキのかかる歩行器、移動のできるシャワーチェアもご紹介頂きました。メルプの皆様、業者の方、お忙しいところ有り難うございました。

（伊東）



ダスキン ヘルスレント釧路ステーション様に二種類の商品のご紹介をしていただきました。

フレックスボード

アコーディオンのような形状で、ベッドからストレッチャーだけでなく、ギャッチアップした状態でリクライニング・チルト車椅子等へ横方向に滑らせて移乗することができます。（付属のスライディングシートがボードの周りをスムーズにスライドします。）座位保持困難な方の移乗時抱え上げないことで転落のリスクや不安感を軽減することができます。

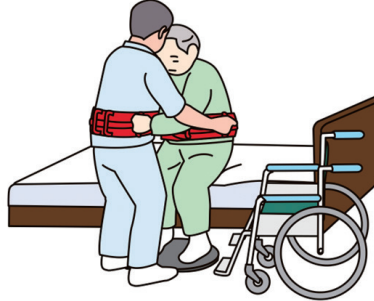


ターンテーブル ハード

移乗する時に足の踏み替えが困難な方の身体の方角転換をサポート。

ターンテーブルに介助される方の足を乗せた後、回転しない様介助者が足で踏み固定。立ち上がってから足先で回転させ、再び踏んで固定してから座っていただく。足で抑制しやすく必要に応じて止めることができる大きさ、薄さになっています。軽量でハンドルがついており持ち運びに便利です。

※より安全に使用するためにフレキシベルトとの併用を推奨されています。



(株) マルベリー様から二種類の商品をご紹介して頂きました。

オールインワン介護用洗身用具「switleBODY」

世界初！オールインワン介護用洗身用具「switleBODY」

このタンクの水量で全身を洗う事ができます。現在、販売と自費レンタル中。施設・事業所への商品紹介も行っています。



専用スポンジ・ブラシを装着
専用洗剤を使用

手すり

「手すりも日々進化しております！」

滑り止め加工、汚れが付きにくい素材で手触りが違います！※

玄関に設置する手すり。コンパクトなタイプ！※※

(石若)



※



※※

電動車いす

今回、株式会社フロンティア様より電動車いすを多数展示していただき、商品についての説明や試乗を行なえるように準備をしていただきました。

「アクトモア」シリーズは、使用される方の状況にあわせて多様な選択ができる商品が揃えられており、乗る人も介助する人も楽に車いすが使えるものが多数ありました。

操作も簡単なものが多く、速度の設定など安全性についても、色々な配慮がいきとどいているものでした。

どの商品もサイズや最小回転半径がコンパクトで狭い場所での使用もできるよう設計されており、屋外での移動だけではなくスーパーなどでの買い物にも使用できるような商品が多くありました。

今回商品説明をしてくださった担当の方からも、「行動範囲がより広がっていただけるように」との説明があり、まさにそういった期待のできる商品が揃えられていました。スーパーやコンビニにちょっと出かける、広い病院のなかを行き来するなど活躍しそうなシチュエーションはたくさんあると思いました。

導入にはなかなか勇気のいる商品だとは思いますが、事前に連絡が必要ですが商品を実際に見たり触れたりすることも可能とのことでした。

株式会社フロンティアの皆様、今回は貴重な体験をさていただきありがとうございました。

(菅野)



令和6年度第2回自主研修 第2部「事業所内でのICT活用等での業務効率化について」

3月28日の研修では、前半のケアプランデータ連携の講義に引き続き「実際の業務でのICT活用はどのような？？」という事で、ざくばらんに意見交換のグループワークを行いました。

グループワークではどのような意見が出て、又業務ではどのような取り組みをしているのか…、皆さまから出された意見をご紹介します！

- ・来月から実績、提供票をCVSを利用しメールで送る事を検討している。
- ・提供票を、管理者がパソコンから直接FAXで送っている。ペーパーレスで郵送の手間も軽減できている。
- ・他事業とのICTを利用したやり取りはないが、事業所内や法人内の会議はPDFを活用し行っている。

との意見が。又、各グループで共通の意見として、

- ・データ連携システムは居宅とサービス事業所の双方が利用しないと意味がない。

実際にデータ連携システムが居宅事業所とサービス事業所双方に導入されれば、提供票の間違いチェック、提供票を届けに行く手間、郵送コストの削減など、多くのメリットがあるとの意見が出ていました。

ICTについては、進んでいない現状が殆どようです。自分自身も「やり方を覚えられるのか？時代について行けるのか？」と、不安が大きいですが、業務の効率化は必須。少しずつ学びながら業務改善に取り組みたいです。

(早川)

